

読書の秋、今年度も読書週間（旬間・月間）を計画している学校がたくさんあります。

お薦めの本の紹介、図書委員会の活動、読書ビンゴ・読書郵便・味見読書などの読書活動、学校図書館支援員によるエプロンシアター・パネルシアターやブックトーク、栄養士との連携で行われるブックメニューなど、その他にも各小・中学校で様々な活動が計画されています。読書週間（旬間・月間）により、本を読むことから一歩進んで、読書生活がより豊かになっているのではないのでしょうか。

学校図書館と読書についてのアンケート

今年度も「学校図書館と読書についてのアンケート」が行われます。このアンケートは、「新宿区子ども読書活動推進計画」と各学校の「学校図書館教育基本計画」に基づき、学校図書館活用や読書活動を推進してきたことへの評価に位置づけられます。

各学校の計画・実行を振り返り、評価・改善に向けて本アンケートが参考になるように、よろしくお願いします。アンケートの実施期間は幅がありますので、各学校で期間内の都合の良い時を選んで行ってください。



新しい蔵書管理ソフトの使い方

バージョンアップされた蔵書管理ソフトの利用マニュアルは、各学校に1冊届きますが、学校図書館支援員から説明を受けたり、学校図書館支援員が図書委員会用の簡単な操作手順を作成したりして利用が開始されていると思います。学校図書館支援員が不在でも貸出・返却などの業務ができるように教員や学校図書館スタッフが学校図書館支援員から説明を受けることは可能です。

新学習指導要領国語と学校図書館活用

新学習指導要領では、国語に「情報を得て活用する言語活動例」が示されました。

学 年	情報を得て活用する言語活動例
小学校 1・2 年	学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。
3・4 年	学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。
5・6 年	学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。
中学校 1 年	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。
2 年	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。
3 年	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動。

さらに、小学校では、「学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。その際、本などの種類や配置、探し方について指導するなど、児童が必要な本などを選ぶことができるよう配慮すること。」「他教科等の学習における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。」中学校でも「学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図るようにすること。」「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。」とあります。国語で学び他教科等で活用するよう、学校図書館の活用は、益々重視されています。